

日本メンタライゼーション研究会 設立準備 学術集会

平成 29 年 9 月 23 日 (土) 10 時～15 時 / 受付開始 9:40

プログラム

司会：白波瀬丈一郎（慶應大学医学部）

10:10-12:00 入門講義「MBT のすすめかた」 崔炯仁（いわくら病院）

12:50-15:00 シンポジウム「私たちが MBT を行うためには」

シンポジスト：池田暁史（文教大学）

菊池裕義（千葉県銚子児童相談所）

上地雄一郎（岡山大学）

討論者： 工藤晋平（京都大学）

西村馨（国際基督教大学）

東啓悟（東京国際大学）

「私たちがメンタライゼーションに基づく

治療 (MBT) を行うためには」

申し込み方法

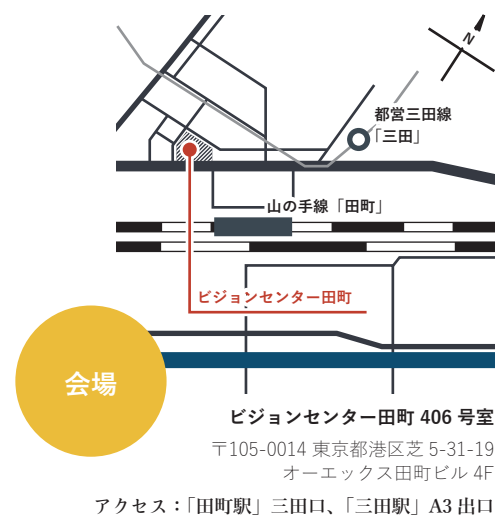
「学術集会参加希望」の件名で下記必要事項を記入し、日本メンタライゼーション研究会事務局 mentalization_conference@yahoo.co.jp まで E メールをお送りください。メールの返信をもって参加受付といたします。

①氏名 ②経験年数 ③性別 ④所属 ⑤職種（学生含む）・資格

⑥連絡先（メール & 電話番号）

申込期限 2017 年 9 月 9 日 (土)

定員 80 名 (先着順)



対象 医療・心理・教育・福祉などの分野に従事する専門家または大学院生
(事例に関する守秘義務を守れる方)

会費 5,000 円 (当日受付にてお支払いください)

主催 日本メンタライゼーション研究会 発起人会
東京メンタライゼーション研究会

私たち臨床家は、クライアントの行動からその気持ちを読み取ろうとし、クライアントが自分の気持ちを言葉にできるよう、質問を工夫します。そうすることで、自分や他人の気持ちを想像するクライアントの能力（メンタライゼーション）を高めようとしています。

このような日常的な取り組みの効果を、科学的に実証しようとしているのが、メンタライゼーションに基づく治療（MBT: Mentalization-based treatment）です。ここで治療とは、医療に限らず、心理、教育、福祉など幅広い領域での臨床的営為を指す言葉です。児童虐待や愛着障害、パーソナリティ障害にみられるように、自分や他人の気持ちを想像することに困難を抱える人が増えている昨今、MBTには大きな役割が期待されています。

それでは、このような日常的な取り組みに何をつけ加えれば、MBTと呼べるのでしょうか。この学術集会では、入門講義でMBTのすすめかたをわかりやすく紹介し、シンポジウムでMBT導入にあたっての諸問題を明らかにします。

私たちは日本へのMBT導入をめざして、日本メンタライゼーション研究会を設立することにしました。この学術集会はその準備を兼ねています。今後の活動について参加者からご意見をうかがい、研究会の運営に生かしていくためです。関心のあるみなさまのご参加を、こころよりお待ちしております。

日本メンタライゼーション研究会

日本におけるMBTの実践、普及、研究をめざして設立準備中の研究会です。この学術集会で講師等をつとめる8名が発起人となっています。

東京メンタライゼーション研究会

東京国際大学大学院で学んだ臨床心理士を中心とする研究会です。MBTを我が国で実践することを目的に活動しています。

講師等紹介（発表順・敬称略）

白波瀬丈一郎

精神科医。慶應大学医学部卒業。慶應大学医学部精神・神経科学教室特任准教授。労働者の職場復帰支援プロジェクトに取り組んでいる。精神分析・パーソナリティ障害治療に関する業績多数。

崔炯仁

精神科医。京都府立医科大学医学部卒業。いわくら病院診療科長。イギリス留学中にMBTを学ぶ。著書「メンタライゼーションでガイドする外傷的育ちの克服」がわかりやすさで好評を博している。

池田暁史

精神科医。東京大学医学部卒業。文教大学人間科学部臨床心理学科教授。精神分析に取り組む一方、精神科医への精神療法教育に従事している。訳書「メンタライゼーション・ハンドブック」など。

菊池裕義

臨床心理士。東京国際大学大学院臨床心理学研究科博士後期課程修了。千葉県銚子児童相談所児童心理司。メンタライゼーションの観点から、被虐待児に対する心理支援に取り組んでいる。

上地雄一郎

臨床心理士。広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。岡山大学大学院教育学研究科教授。メンタライジング・アプローチの臨床教育を研究している。著書「メンタライジング・アプローチ入門」など。

工藤晋平

臨床心理士。九州大学大学院人間環境学府博士後期課程単位取得退学。京都大学学際融合教育研究推進センター特定准教授。アタッチメント理論の立場から貧困から犯罪に至る過程を研究している。

西村馨

臨床心理士。国際基督教大学大学院博士課程修了。国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科上級准教授。子どものグループ療法に取り組んでいる。共著書「集団精神療法の実践事例 30: グループ臨床の多様な展開」など。

東啓悟

臨床心理士。東京国際大学大学院臨床心理学研究科博士後期課程単位取得退学。東京国際大学大学院臨床心理学研究科研究生。精神科クリニックや学校での臨床に従事。東京メンタライゼーション研究会代表。